

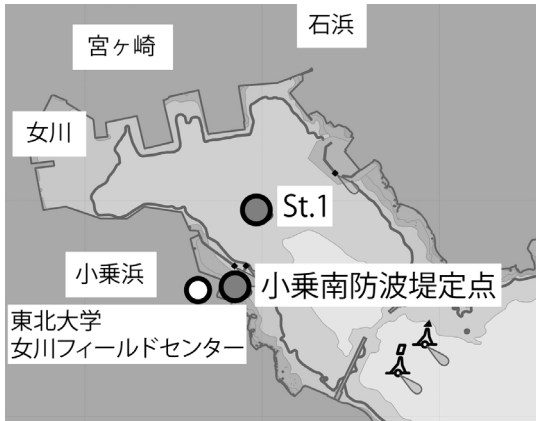
週刊 女川湾海況速報 (No.9)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

9 月 10 日から 14 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は全層で上昇傾向。塩分は 12 日に全層で下降。降雨の影響と推定。鉛直的には水深とともに上昇傾向。先週に引き続き、底層（5m）近くで外洋水の影響が顕著。

水深 [m]	9月10日 (月)	9月11日 (火)	9月12日 (水)	9月13日 (木)	9月14日 (金)
0	25.2 (33.6)	25.4 (33.7)	25.6 (32.6)	26.0 (33.6)	26.2 (33.5)
5	24.4 (33.7)	24.2 (33.8)	24.3 (32.8)	24.8 (33.7)	24.9 (33.8)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：先週と比較して、底層で上昇傾向。経時的には11日と14日に底層で顕著な上昇。

水深 [m]	9月10日 (月)	9月11日 (火)	9月12日 (水)	9月13日 (木)	9月14日 (金)
0	0.8	0.5	0.8	0.8	0.6
5	1.5	2.4	1.3	1.6	2.8

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して、下降傾向にあるが、7mg/l 台を維持。

水深 [m]	9月10日 (月)	9月11日 (火)	9月12日 (水)	9月13日 (木)	9月14日 (金)
0	7.1	7.4	7.4	7.3	7.0
5	7.4	7.0	7.4	7.1	7.0

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温は水深とともに下降。塩分は 5m 以深で 33.8 パーミル。外洋水の影響と推定。濁度は 0.4~3.4FTU で、底層（20m）で最大。溶存酸素は 6.0~7.6mg/l で、底層で最小。

9 月 12 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	25.4	33.5	0.7	7.4
5	24.3	33.8	0.6	7.6
10	23.3	33.8	0.4	7.6
15	23.0	33.8	0.5	7.5
20	22.3	33.8	3.4	6.0

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。